



コンクリートひび割れ補修工法
マイクロカプセルGP工法

NETIS登録番号：KT-230319-A

〒536-0005 大阪府大阪市城東区中央2-13-27
TEL 06-6930-0396 FAX 06-6931-0566
URL <https://www.microcapsule-net.jp/>
mail info@microcapsule.jp



マイクロカプセル



GP-396



注入後のコア

概要

マイクロカプセルGP工法は、コンクリートの微細なひび割れに、セメント系とは異なる新たに開発したジオポリマー系注入材（GP-396）をキャブコンに入れることにより注入器本体を繰り返し使うことができる、環境に優しく安全な自動式低圧注入工法である。



ジオポリマー注入状況

ジオポリマー系注入材GP-396

ジオポリマー技術による無機のひび割れ注入剤。どのような環境でも高い注入性能があり、いつでも安定した施工が可能である。硬化体はコンクリートの物性に近く、コンクリート躯体と一体化する。材料の多くにフライアッシュや高炉スラグなどの産業副産物を使用しているため、環境にも優しい材料である。

特長

1. 注入材はキャブコンに入れ、本体は繰り返し使用できる。
2. 注入材は通常タイプ（5～35℃可）と低気温タイプ（-5～10℃）の2種類がある。
3. ひび割れ内が湿潤でも接着力は低下しない。
4. ひび割れ内が乾燥していても通水は必要としない。
5. 臭気がない。
6. 吸気によるかぶれなどの危険性がない。
7. 硬化発熱による危険性がない。
8. 夏でも可使用時間が十分ある。
9. 冬でも粘度が大きくは変わらない。
10. 乾燥後の材料はコンクリート色に近く目立たない。

GP-396物性データ

●通常タイプ（GP-396）

項目	試験値など	備考
圧縮強度 (N/mm ²)	27.3	28日
	35.5	91日
接着強度 (N/mm ²)	乾燥面 3.23	—
	湿潤面 3.26	
対象温度範囲	5～35℃	注入時気温
可使用時間 (目安)	90min	5℃
	60min	20℃
	30min	35℃
固化時間 (目安)	約30h	5℃
	約12h	10℃
	約6h	20℃
	約4h	35℃
対象クラック幅 (mm)	0.2～1.0	—
練上がり量 (ケース)	5.23ℓ	—
積算比重	1.72	—
荷姿	9kg/ケース	パウダー1kg×5袋 混和液0.8kg×5本

●低気温タイプ（GP-396W）

項目	試験値など	備考
圧縮強度 (N/mm ²)	40.8	28日
	44.2	91日
接着強度 (N/mm ²)	乾燥面 4.01	—
	湿潤面 2.50	
対象温度範囲	-5～10℃	注入時気温
可使用時間 (目安)	80min	-5℃
	80min	0℃
	60min	10℃
固化時間 (目安)	<26h	-5℃
	<13h	0℃
	<3.5h	10℃
対象クラック幅 (mm)	0.2～1.0	—
練上がり量 (ケース)	5.42ℓ	—
積算比重	1.75	—
荷姿	9.5kg/ケース	パウダー1kg×5袋 混和液0.9kg×5本